

平成 24 年 11 月吉日

経済産業省
日本IR協議会

「持続的な企業価値の創造のための IR/コミュニケーション戦略に関する実態調査」 アンケート調査ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

企業価値に対する関心が高まっています。グローバル資本主義が進展する中、持続的に企業価値を創造できなければ、市場から淘汰される時代になりつつあるためです。

こうした持続的な企業価値の創造のためには、企業と投資家の間での円滑かつ安定的なコミュニケーション活動を展開することが不可欠です。さらにそうした円滑かつ安定的なコミュニケーション活動を展開するためには、企業価値の創造をめぐり、企業と投資家の間で共通した問題意識や価値観を持つておくことが不可欠です。とはいえ、近年ますます企業と投資家との間での円滑かつ安定的なコミュニケーションを阻害するような事象が進展しています。米国や英国ではにわかに進展しつつある投資家の短期志向についての懸念もその一つです。短期的な業績目標への達成へのプレッシャーは、企業の長期的かつ持続的な価値創造にネガティブな影響を与えている企業関係者も少なくないようです。一方、事業の不確実性が高まりつつある中で、中期経営計画などで提示される経営目標が未達で終わるケースに対して、企業の経営実行力を問う声が投資家の間で高まりつつあります。

私たちは、企業と投資家との間の意識ギャップを埋めると同時に、企業の持続的な価値創造を促す取り組みを推進したいと考え、企業人、投資家、政策関係者（経済産業省、金融庁、東京証券取引所）、有識者などから構成される企業報告ラボ(Corporate Reporting Lab)を設置しました。同ラボでは、日本企業の価値創造活動に対する問題意識や価値観、活動内容などの実態を確認することが肝要であると考えております。こうした取り組みの一環として、私たちは、日本の上場企業の情報開示を担当されている皆様を対象に、日本企業の企業価値創造活動の実態を確認するアンケートを実施することにしました。当該データを定量的に解析することで、持続的な企業価値創造活動にあたってのコミュニケーション活動のあるべき姿を検討したいと考えております。調査結果につきましては、国内外の主要な投資家に対してフィードバックを行い、投資家と企業とのコミュニケーションギャップを埋めるために活用させていただくほか、IR 戦略や行動のベストプラクティスを検討するために活用させていただきます。また、今回アンケートにご協力いただいた方には、調査結果も含めた報告書も送付させていただきます。

本質問票調査はあくまで本事業の研究活動の一環として実施するもので、株式会社アイ・アール ジャパンへの委託により実施させていただきますが、貴社およびご回答者の許可なくして、お名前を出しご迷惑をおかけすることは絶対にございませぬ。

お忙しいところ、恐縮ですが、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

※ご回答方法およびお問い合わせにつきましては、同封した別紙をご参照ください。

問1 御社における企業価値に対する認識についてご回答ください。

(1) 御社では、現在、企業価値や業績向上の目標の達成のための期間をどのくらいで設定していますか。
また、理想として、それらの活動にどのくらいの期間を設けるのが適切であると考えていますか。下記の中
でもっとも御社に近い状況にあると考えられる項目1つに○印をご記入ください。

	10年	5年	3年	1年	半期	四半期
①現状	6	5	4	3	2	1
②理想	6	5	4	3	2	1

(2) 御社では、持続的な企業価値の創造の実現を目指すにあたって、課題となっている要素は何ですか。
該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	経営のグローバル化	2	海外企業との競争激化	3	商品・サービスライフサイクルの短期化
4	新規事業への進出	5	既存事業からの撤退	6	価格決定力・交渉力
7	人材獲得	8	部品・原材料等の調達	9	投資家からのプレッシャー
10	敵対的買収への脅威	11	資本調達力	12	為替レート・円高
13	雇用法制	14	法令順守等の規制強化	15	業績予想制度
16	四半期決算の開示制度	17	企業価値・証券市場についての 社内の理解不足	18	社内の情報共有・連携不足
19	社外取締役・監査役	20	業績連動報酬/株式報酬制度	21	会計監査
22	その他（ ）				

上記の中で特に御社で課題となっていると考えるものから順に3つ以内で項目番号をご記入ください。

1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

(3) 御社において特に重視するステークホルダーすべてに○印をご記入ください。

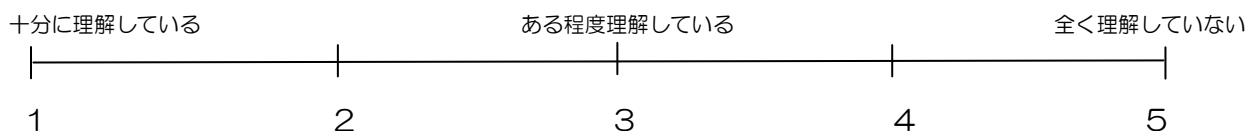
1	顧客	2	従業員	3	サプライヤー・仕入れ先
4	個人株主	5	国内機関投資家	6	海外機関投資家
7	証券アナリスト	8	銀行	9	銀行以外の債権者
10	流通業者	11	地域社会・地域住民	12	地球環境
13	パートナー・提携企業	14	その他（ ）		

上記の中で特に御社で重視しているステークホルダーから順に5つ以内で項目番号をご記入ください。

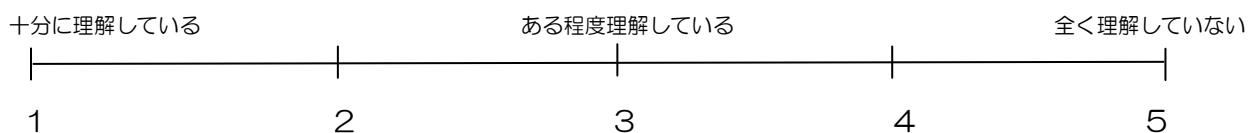
1位		2位		3位	
4位		5位			

(4) 日頃、御社が最も多く接している投資家について、御社の経営陣の認識に該当するものに1つに○印
をご記入ください。

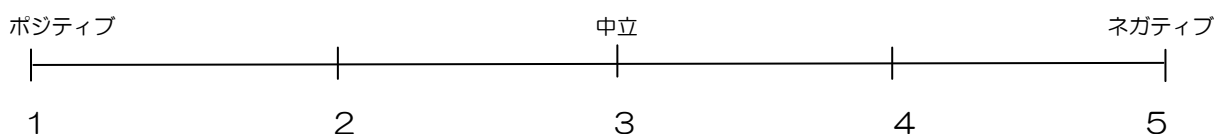
①企業の長期的な競争優位の構築のための活動



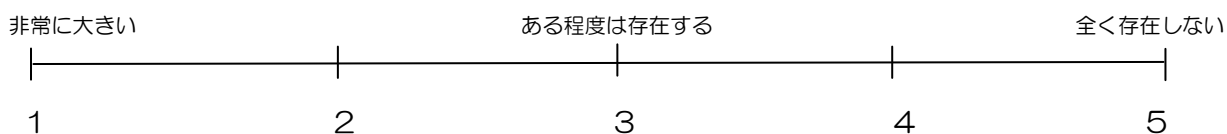
②環境経営、社会貢献や CSR にかかわる活動



③株主・投資家対応が企業の持続的な価値創造に与える影響



④投資家とのコミュニケーションから得られる経営活動への示唆



(5) 御社が持続的な企業価値創造を目指す上で、投資家とのコミュニケーションにおいて特に課題と感じている点は何ですか。何でも結構ですので自由にご回答ください。

(6) 御社において、特に社長面談などを積極的に促したいと考える機関投資家について回答ください。

(a) そうした投資家はどのような特徴や属性を持っていると感じますか。そうした投資家が存在する場合、自由回答にてご回答ください。

(b) そうした面談を促すことで、自社にどのような影響や効果があると考えていますか。想定される影響や効果について自由回答にてご回答ください。

問2 御社における経営理念等や企業文化に対する認識についてご回答ください。

(1) (a) 自社の経営理念や共通の価値観について、浸透させる取り組みを実施していますか。(b) その取り組みを実践している場合、それは下記のそれぞれの対象に対して、どれくらいの頻度で実施されていますか。

(a) 浸透させる取り組み

1	実施している	2	実施していない
---	--------	---	---------

(b) 取り組みの頻度

	週次	月次	四半期	半期	一年	適宜	なし
経営者クラス	1	2	3	4	5	6	7
部門長クラス	1	2	3	4	5	6	7
マネージャークラス	1	2	3	4	5	6	7
一般社員クラス	1	2	3	4	5	6	7

※経営者クラスには取締役・執行役員など、部門長クラスには事業部長や開発・生産・営業部長、工場長など、マネージャークラスには課長・室長・係長など、一般社員クラスにはそれ以外のメンバーを含む。

(2) 御社では、経営理念や共通の価値観がどのような役割を果たしていますか。下記の中で、それぞれ該当するもの1つに○印をご記入ください。

	他の要素に比べて頻繁に議論することが多いなど非常に重視している	他の要素以上に相対的には重視している	必ず議論されるとは限らないが、他の要素以上に相対的には重視している	他の要素と同様に重視している	相対的に重視していない	全く重視していない	わからない
(a) 経営目標	1	2	3	4	5	6	
(b) 中期経営計画（損益計画、キャッシュフロー、設備投資計画等）	1	2	3	4	5	6	
(c) 新規事業の進出	1	2	3	4	5	6	
(d) 既存事業からの撤退	1	2	3	4	5	6	
(e) 年度予算・投資配分	1	2	3	4	5	6	
(f) イノベーション活動	1	2	3	4	5	6	
(g) 業績評価指標	1	2	3	4	5	6	
(h) 従業員教育・研修	1	2	3	4	5	6	
(i) グローバル展開	1	2	3	4	5	6	

(3) 投資家は御社の経営理念や共通の価値観をどれほど重視していますか。①接触頻度の高い投資家、②御社のターゲットとなる投資家それぞれについての理解度として最も近いものに○印をご記入ください。

	非常に重視	やや重視	中立	やや軽視	軽視
①接触頻度の高い投資家	1	2	3	4	5
②ターゲットとなる投資家	1	2	3	4	5

問3 御社における経営目標や中期経営計画についてご回答ください。

(1) 御社では、経営目標を掲げていますか。掲げている場合には、どのような経営目標を掲げていますか。ご回答ください。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「1」とご回答いただいた場合は、どのような経営目標を掲げているか、該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	売上高	2	営業利益	3	経常利益
4	当期純利益	5	包括利益	6	EVA（経済的付加価値）
7	売上高営業利益率	8	ROA	9	ROE
10	ROIC	11	営業キャッシュ・フロー	12	フリー・キャッシュ・フロー
13	配当性向	14	1株当たり配当	15	DOE（株主資本配当率）
16	総還元性向	17	WACC（資本コスト）	18	EPS（一株当たり利益）
19	EBITDA	20	自己資本比率	21	ネットD/Eレシオ
22	有利子負債期末残高	23	キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）※	24	業務純益
25	配当利回り	26	その他（		

※CCC = 棚卸資産回転日数 + 売上債権回転日数 - 仕入債務回転日数

→上記で取り上げた業績目標の中で特に御社で重視している指標は何ですか。重視する順に上位3項目の番号をご記入ください。

※番号は上記の項目をお答えください。たとえば、ROAならば「8」とご記入ください。

第1位	()	第2位	()	第3位	()
-----	-----	-----	-----	-----	-----

(2) 御社では、中期経営計画、長期経営計画など3年以上にわたる経営計画を策定していますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「2.いいえ」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画を策定しない理由は何でしょうか。

--

(3) (2) で「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。御社では、経営計画を開示ないしは公表していますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「2.いいえ」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画を公表しない理由は何でしょうか。

--

→「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。経営計画はどのようなかたちで公表していますか。

下記の中から該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	決算発表会	2	決算短信	3	株主総会
4	経営計画説明会	5	アニュアル・レポート	6	ニュースリリース
7	自社ホームページ	8	有価証券報告書	9	個人投資家説明会
10	機関投資家等説明会	11	アナリスト説明会	12	その他

(4)御社では経営計画の進捗の確認・見直しのためのミーティング等をどのような期間で実施されますか。

下記の中から該当するものすべてに○印をご記入ください。

	週次	月次	四半期	半期	一年	適宜	なし
経営者クラス	1	2	3	4	5	6	7
部門長クラス	1	2	3	4	5	6	7
マネージャークラス	1	2	3	4	5	6	7
一般社員クラス	1	2	3	4	5	6	7

※経営者クラスには取締役・執行役員など、部門長クラスには事業部長や開発・生産・営業部長、工場長など、マネージャークラスには課長・室長・係長など、一般社員クラスにはそれ以外のメンバーを含む。

(5) (a) 御社では経営計画の進捗の確認のために定点観測するための業績評価指標を測定していますか。

(b)測定している場合、特に重視されている指標（取締役会や役員会で積極的に議論される指標など）を5つ以内でご記入ください。

(a) 定点観測のための業績評価指標の測定の有無

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(b) 重視している指標

①	②
③	④
⑤	

(6) 御社では経営目標・計画を着実に実現するため、経営目標・計画の達成度と結びつけた業績連動報酬制度を導入していますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「1.はい」とご回答いただいた方におたずねします。業績連動報酬制度と結びついているのはどのような指標ですか。特に重要となっている指標を5つ以内でご記入ください。

①	②
③	④
⑤	

(7) 御社で仮に経営目標や経営計画が達成できなかった場合、御社ではどのようにそれを投資家に説明することが多いですか。御社で説明することの多い内容について該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	目標や計画未達の外的原因（外的環境の変化等）の開示	2	目標や計画未達の内的原因（組織や企業内での課題等）の開示
3	原因分析に基づく新戦略とそれに基づく目標や計画の開示	4	経営責任の明確化（経営者報酬の減少や辞任、体制の見直し等）とそれへの対応の開示
5	業績評価指標の見直しなどの開示	6	参入や撤退要件など基本方針の確認とそれに基づく行動計画の開示
7	目標や計画の未達に対しては投資家に積極的に説明しない		
8	その他（ ）		

（８）(a)自社の資本コストを意識されていますか。意識されているとした場合に、どれくらいの水準と認識されているか基準となっている数値がありましたら、ご記入ください。

(b)そうした資本コストを意識している姿勢を投資家に対して積極的に開示していますか。

(c)そうした資本コストは、企業内でどれほど強く意識されて、経営活動が実践されていますか。資本コストを意識する活動として該当するものすべてに○印をご記入ください。

(a)資本コストへの意識 ※非公表・非開示の場合も、ご記入ください。

1	はい（約 %）	2	いいえ
---	---------	---	-----

(b)開示している

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(c)経営行動への反映

1	設備投資など資本的支出	2	既存事業からの撤退	3	投資・予算配分の決定
4	新規事業への進出	5	海外事業への進出	6	資金調達行動・資本構成
7	株主還元（配当・自社株取得）	8	IR 活動	9	経営者報酬の決定
10	教育・啓蒙活動	11	その他（ ）		

（９）(a)経営活動の中で ROE を意識されていますか。ご記入ください。また「いいえ」と回答された場合、ROA などその他の利益率指標を意識されている場合には、その利益率指標をご記入ください。

(b)そうした利益率指標を開示活動において積極的に活用していますか。

(c)ROE や ROIC は資本コストを上回っていますか。該当するもの 1 つに○印をご記入ください。

(d) (a)で掲げた利益率指標は経営活動のどのような側面で意識されていますか。該当するものすべてに○印をご記入ください。

(a)ROE を意識している

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

「いいえ」と回答した場合 →重視している利益率指標（ ）

(b)利益率指標を開示活動に活用

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(c)資本コストとの関係

1	はい	2	いいえ	3	意識したことはない
---	----	---	-----	---	-----------

(d)経営行動への反映 (a)で ROE またはその他利益率指標を意識していると回答した場合にご回答ください。

1	設備投資など資本的支出	2	既存事業からの撤退	3	投資・予算配分の決定
4	新規事業への進出	5	海外事業への進出	6	資金調達行動・資本構成
7	株主還元（配当・自社株取得）	8	IR 活動	9	経営者報酬の決定
10	教育・啓蒙活動	11	その他（ ）		

問4 **御社の情報開示・IR活動**についてご回答ください。

(1) 御社では、どのステークホルダーを重視して、情報開示活動を行っていますか。該当するステークホルダーの番号に○印をご記入ください。

1	顧客	2	従業員	3	サプライヤー・仕入れ先
4	個人株主・個人投資家	5	国内機関投資家	6	海外機関投資家
7	証券アナリスト	8	銀行	9	銀行以外の債権者
10	流通業者	11	地域社会・地域住民	12	地球環境
13	パートナー・提携企業	14	その他（ ）		

上記で選択されたステークホルダーのうち、とりわけ開示上、重視しているステークホルダーの番号を **3つ以内**でお答えください。

() 番 () 番 () 番

(2) 御社が**ターゲットとしている重要な投資家**との対話において、どのようなテーマについての議論が不足していると感じますか。それぞれについて該当するもの **1つ**に○印をご記入ください。

	て 不 非 い 足 常 る し に	て 不 い 足 る し	い 足 や る し や て 不	足 ほ ほ 満	て 満 非 い 足 常 る し に	な わ い か ら
事業環境の変化や状況	1	2	3	4	5	6
自社の強み、弱み、課題	1	2	3	4	5	6
業績の状況や変化	1	2	3	4	5	6
中期計画や業績予想等の将来情報	1	2	3	4	5	6
中期計画の達成状況やその見直し	1	2	3	4	5	6
企業価値向上の方針や状況	1	2	3	4	5	6
コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6
株主還元や内部留保の方針や状況	1	2	3	4	5	6
新規投資や事業撤退の方針や状況	1	2	3	4	5	6
持続的な競争優位向上に向けた取組	1	2	3	4	5	6
リスク管理に関する取り組み	1	2	3	4	5	6
環境や社会貢献に向けた取組	1	2	3	4	5	6
その他（ ）						

(3) 御社と**接触頻度の高い投資家**との対話において、(2)で掲げた項目の中でどのようなテーマを彼らが重視していると感じますか。それぞれで該当するもの **1つ**に○印をご記入ください。

	重 非 視 常 に	重 視	視 や や 重 重	ず 重 あ 視 視 ま せ せ り	視 全 せ く ず 重	な わ い か ら
事業環境の変化や状況	1	2	3	4	5	6
自社の強み、弱み、課題	1	2	3	4	5	6
業績の状況や変化	1	2	3	4	5	6
中期計画や業績予想等の将来情報	1	2	3	4	5	6
中期計画の達成状況やその見直し	1	2	3	4	5	6
企業価値向上の方針や状況	1	2	3	4	5	6
コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6
株主還元や内部留保の方針や状況	1	2	3	4	5	6
新規投資や事業撤退の方針や状況	1	2	3	4	5	6
持続的な競争優位向上に向けた取組	1	2	3	4	5	6
リスク管理に関する取り組み	1	2	3	4	5	6
環境や社会貢献に向けた取組	1	2	3	4	5	6

(5) 下記の開示情報について、(a) 投資家からの問い合わせや関心がどれほど高いと感じていますか。
 (b) 投資家との安定的な関係を構築し、持続的な企業価値の創造を促進させるためどのような影響を与えていると感じていますか。(a) (b) それぞれ該当するものに 1 つに ○印をご記入ください。

開示情報への問い合わせ・関心の高さ、 持続的な価値創造活動への影響		(a) 関心の高さ						(b) 価値への影響		
		高い 非常に	高い	普通	やや 低い	ほとん どない	わから ない	ポジ ティブ	中立	ネガ ティブ
1	連結財務諸表など財務情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
2	連結財務諸表の脚注・補足情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
3	個別財務諸表	1	2	3	4	5	6	1	2	3
4	四半期財務諸表	1	2	3	4	5	6	1	2	3
5	四半期レビュー	1	2	3	4	5	6	1	2	3
6	業績予想	1	2	3	4	5	6	1	2	3
7	内部統制監査報告	1	2	3	4	5	6	1	2	3
8	経営者の業績見通し	1	2	3	4	5	6	1	2	3
9	中期経営計画	1	2	3	4	5	6	1	2	3
10	経営目標	1	2	3	4	5	6	1	2	3
11	事業等のリスクに関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
12	コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6	1	2	3
13	役員報酬	1	2	3	4	5	6	1	2	3
14	リスクマネジメント情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
15	環境経営に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
16	雇用や人材活用に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
17	CSR・社会貢献に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
18	事業の概況	1	2	3	4	5	6	1	2	3
19	ビジネスモデルや戦略情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
20	月次売上状況・受注状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3

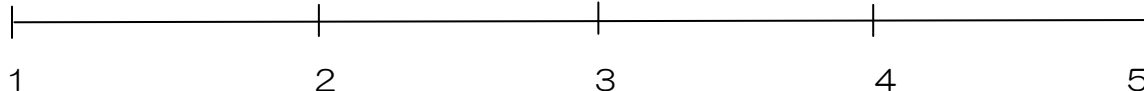
(6) (a) IR 活動の結果など株主・投資家からの声を社内にフィードバックしていますか。(b) そのフィードバックの対象として該当するレベル すべてに ○印をご記入ください。

(a) 株主・投資家からの声の社内フィードバック

1	実施している	2	実施していない
---	--------	---	---------

(b) そうした投資家からのフィードバックの内容は実際に企業経営にかかわる意思決定や企業行動に影響を与えていると考えていますか。該当するもの 1 つに ○印をご記入ください

強く影響を与えている 影響を与えている 少し影響を与えている あまり影響を与えていない 全く影響を与えていない



(c) (b) で「1 強く影響を与えている」「2 影響を与えている」と回答した方のみお答えください。

そうしたフィードバックによる影響の内容について、自由回答にてご回答ください。

(7) 情報開示活動の目標や狙いについてお聞きします。項目ごとに1つに○印をご記入ください。

(a) 御社では、各項目をどの程度重視していますか。

(b) 各項目について、御社の情報開示活動の効果をお答えください。

(c) 御社で定量的な目標を設定している項目はありますか。

情報開示活動の目的・ねらい		(a)			(b)			(c)	
		重視している	どちらともいえない	重視していない	効果あり	どちらともいえない	効果なし	定量目標設定あり	定量目標設定なし
1	適切な株価の形成	1	2	3	1	2	3	1	2
2	資金調達コストの低減	1	2	3	1	2	3	1	2
3	安定株主の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
4	株主との信頼関係の構築	1	2	3	1	2	3	1	2
5	債権者（社債権者・銀行）との信頼関係の構築	1	2	3	1	2	3	1	2
6	個人株主数の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
7	外国人株主数の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
8	株式売買高の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
9	投資家に対する企業・事業内容の理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
10	投資家に対する企業の経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
11	お取引先に対する経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
12	従業員に対する経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
13	地域住民や地域社会との信頼関係構築	1	2	3	1	2	3	1	2
14	CSR(社会的責任・貢献活動)の一環	1	2	3	1	2	3	1	2
15	企業の認知度、企業イメージ・ブランドの向上	1	2	3	1	2	3	1	2
16	企業価値の創造	1	2	3	1	2	3	1	2
17	経営に有用な情報のフィードバック	1	2	3	1	2	3	1	2

(8) 御社で円滑な IR 活動を実践するにあたって、障害となっている要素として該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	情報の社外流出に対する懸念	2	社内で IR の意義が共有されていない
3	四半期開示など法定開示頻度の多さ	4	Fair Disclosure（公平開示）などの規則
5	企業経営者による IR 活動への理解不足	6	社内における情報共有・連携の不足
7	人員やインフラなどの資源不足	8	その他（ ）

(9) 御社では、IR 活動に対する経営者や社員等の理解を高めるために、どのような工夫をしていますか。
工夫内容について、自由回答にてご回答ください。

問5 御社のコーポレート・ガバナンスに関する取り組みやその開示状況についてご回答ください。

(1) (a) 御社では、株主や投資家からの信頼感を向上させ、企業価値を持続的に向上させるため、どのような取り組みを実施されていますか。(b) またそうした取り組みを株主や投資家に向けて開示していますか。それぞれ該当するもの 1つに○印をご記入ください。

	(a)				(b)
	い 実 施 し て い な い	い 実 施 し て い る	意 識 し て い る	特 に 重 視 し て 実 施 し て い る	開 示
企業統治に関する基本方針の策定	1	2	3	→	1
取締役の独立要件の提示・徹底	1	2	3	→	1
独立取締役の構成比率	1	2	3	→	1
取締役会議長とCEOの分離	1	2	3	→	1
執行と監督の分離	1	2	3	→	1
取締役会規模の適正化	1	2	3	→	1
取締役会メンバーの多様化	1	2	3	→	1
主要なステークホルダーの声を経営に反映	1	2	3	→	1
業績悪化時や計画未達時における原因説明と今後の方針の適時開示	1	2	3	→	1
経営トップの任命プロセスの透明化	1	2	3	→	1
取締役の任命プロセスの透明化	1	2	3	→	1
経営者報酬の決定プロセスの透明化	1	2	3	→	1
取締役会における議論の活性化	1	2	3	→	1
長期保有株主との継続的な対話	1	2	3	→	1
社外取締役・社外監査役と会計監査人、内部統制、内部監査との連携	1	2	3	→	1

(2) 株主や投資家からの信頼感を向上させるコーポレート・ガバナンスの取り組みを実践するため、御社で特に問題となっていると感じている事象は何ですか。該当するもの すべてに○印をご記入ください。

1	公平開示(Fair Disclosure)ルール	2	社外取締役・監査役の適正人材の不足
3	株主や投資家の短期志向	4	監査役制度の説明のむずかしさ
5	社外取締役・監査役と内部統制・監査や会計監査人との連携	6	経営トップのコーポレート・ガバナンスに対する理解不足
7	株主や投資家に対する不信感の克服	8	その他()

(3) 持続的な企業価値の創造にあたって、御社の株主や投資家に対して期待している役割などがありますか。ございましたら、自由にご記入ください。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「1 はい」と回答した場合のみ、その内容を自由回答にてご回答ください。

お答えを分類集計するためにおたずねします。

F 1. 御社のIR体制についてお聞きます。**2012年12月現在**における御社のIR体制について、該当するものに○印をご記入ください。「e. IR担当社員の人数」のみ、**数値**をご記入ください。

a	IR専任部署の有無	1. あり	0. なし
b	IR担当部門の管轄状況	1. 経営トップ直轄	0. トップ直轄ではない (経営企画部/財務部/ 広報部/その他)
c	IR担当部門の取締役会への参加状況	1. 参加	0. 不参加
d	IR担当部門の経営計画作成への関与の有無	1. あり	0. なし
e	IR担当社員の人数(兼務含む)	人	

F 2. 御社のIR担当者の最高職位として、該当するものをすべてに○印をご記入ください。

1	役員クラス	2	部長クラス	3	課長クラス	4	その他
---	-------	---	-------	---	-------	---	-----

F 3. 御社の社内向け広報の実施状況およびIR担当部門の関与の有無についてお知らせください。

		実施の有無		IR担当部門の関与の有無	
①	(中期)経営計画の伝達	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
②	年間計画の伝達	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
③	社内向け決算発表説明会	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
④	経営理念・ビジョン等の浸透	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
⑤	自社の歴史についての説明	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし

F 4. 御社における経営者によるIR活動として実践されているものをすべてに○印をご記入ください。

1	大株主のみ	2	海外IR中心	3	主要な投資家数名のみ
4	大規模説明会のみ	5	その他		

F 5. 御社では、長期的な企業価値の創造のために、IR担当部門と経営企画担当部門との間での連携を意識していますか。該当するものを1つに○印をご記入ください。

1	意識している	2	意識していない	3	わからない
---	--------	---	---------	---	-------

F 6. お勤めの会社名、証券コード、部署名、お名前をご記入ください。調査結果のフィードバックに活用させていただきます。また、**御了承いただいた企業の方に**必要に応じてインタビュー調査を実施させていただきたいと考えております。ご協力いただける場合には、お知らせください。

会社名		証券コード	
部署			
回答者氏名			
住所	〒		
インタビュー調査へのご協力の可否	協力してもよい	協力できない	

■ 長時間ご協力ありがとうございました。